

マクロ経済学 期末試験

2005年2月7日実施

問題 1

「クラウドディングアウト」を説明せよ。

問題 2

「流動性のわな」を説明せよ。

問題 3 (10点)

所得	200	300	400	500	600	700
消費	130	190	250	310	370	430

(1) 消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y 、消費を C とする。

$$C=10+0.6Y$$

$$C=20+0.6Y$$

$$C=10+0.5Y$$

$$C=20+0.5Y$$

問題 4 (10点)

表は、ある企業の投資プロジェクト案である。投資家はケインズの投資決定論に基づき、これらのプロジェクト案を実施するかどうか判断する場合、どのプロジェクトを採用するか。借入金に対する利率、収益に対する利率とも 10% とする。

プロジェクト案	設備の利用期間	設備の費用	毎期の予想収益
A案	1年	1200億円	500億円
B案	2年	1200億円	700億円
C案	3年	1,200億円	600億円

A, B, C案とも実施する。

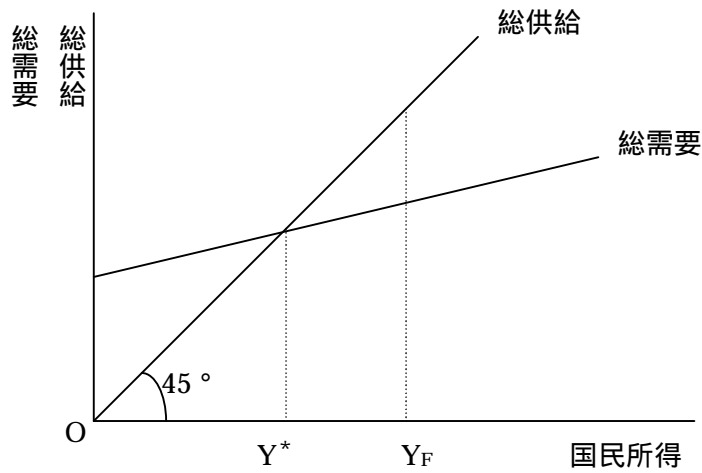
A案は実施しないがB, C案は実施する。

A案は実施しないが、B案は実施する。

A案は実施しないが、C案は実施する。

問題 5 (10 点)

図は国民所得と総供給，総需要の関係を表したものである。ここで Y^* は均衡国民所得， Y_F は完全雇用国民所得であり， Y_F は 1100 兆円である。また，投資を 300 兆円とし，消費関数を $C=0.6Y+60$ (単位：兆円) とする。このとき，いくらかのデフレギャップが生じているか。ただし，政府部門は考慮せず，総需要は消費と投資からなるものとする。

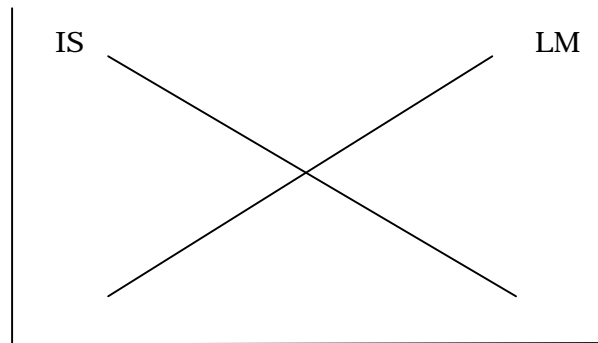


- 20 兆円
- 40 兆円
- 60 兆円
- 80 兆円

問題 6 (10 点)

次の図に関する記述のうち、正しいのはどれか。ただし、以下の記述において、M：貨幣供給量，L：貨幣需要量，S：貯蓄，I：投資，r：利子率，Y：国民所得，である。

選択肢のうち間違っているものを一つ選べ。



- の領域では $I < S$ が成り立っている。
- の領域では $L < M$ が成り立っている。
- の領域では $S < I$ が成り立っている。
- の領域では $L < M$ が成り立っている。

問題 7 (10 点)

マクロ経済における，IS-LM 曲線が，

IS 曲線： $Y = 200 - 10r + G$

LM 曲線： $Y = 60 + 10r + 0.5M$

$\left[\begin{array}{l} Y : \text{国民所得}, r : \text{利子率} (\%) \\ G : \text{政府支出}, M : \text{マネーサプライ} \end{array} \right]$

で示されるとする。今，政府支出が 40 増加し，マネーサプライが不変であったとき，利子率はどのようになるか。ただし，物価水準は一定である。

- 0.5%
- 1%
- 2%
- 4%

問題 8 (10 点)

ある国の経済が次のモデルで示されている。

$$Y = C +$$

$$C = 20 + 0.6Y$$

$$= 100 - r$$

$$L = 100 + 0.6Y - r$$

$$M = 400$$

Y : 国民所得 , C : 消費 , I : 投資
r : 利子率 , L : 実質貨幣需要
M : 名目貨幣供給

物価水準 P が伸縮的であるとき , この経済の総需要曲線はどのような式になるか。

$$P = 100 / (Y - 20)$$

$$P = 200 / (Y - 20)$$

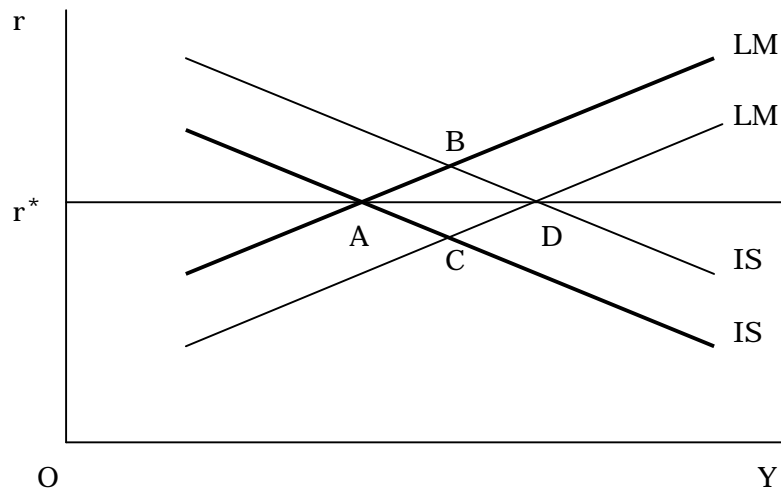
$$P = 400 / (Y - 20)$$

$$P = 600 / (Y - 20)$$

問題 9 (10 点)

図は、資本移動が完全な場合におけるマンデル=フレミング・モデル(小国モデル)を表したものである。世界市場において金利水準が r^* に決まっているとする。次の記述のうち正しいものを一つ選べ。

ただし、 Y は GDP であり、 r は金利である。また、物価水準は一定であるものとする。



- 1 固定相場制においては、財政拡大により IS 曲線を IS にシフトした場合の長期的に均衡点は A 点である。
- 2 固定相場制においては、財政拡大により IS 曲線を IS にシフトした場合の長期的に均衡点は B 点である。
- 3 固定相場制においては、金融緩和により LM 曲線を LM にシフトした場合の長期的に均衡点は C 点である。
- 4 変動相場制においては、財政拡大により IS 曲線を IS にシフトした場合の長期的に均衡点は D 点である。
- 5 変動相場制においては、金融緩和により LM 曲線を LM にシフトした場合の長期的に均衡点は D 点である。

問題 10 (10 点、無記入は 0 点)

この授業に関する感想を書いてください。